

(6) 風俗図・生活 (生活、生産、風景、花鳥図)

生活や風俗を扱ったもののほか自然を描いたものは約40点ある。



162 色絵 鳩に秋草図陶額 ☆市指定文化財 寺井・奥野八幡神社 明治28年(1895)

生地は小松市八幡町の松原新助が焼成、着画は初代 武腰善平。日清戦役凱旋記念として寺井の貿易商織田甚三氏が奉納した。陶板の絵馬は貴重である。



163 山水板画 小長野・八幡神社 年代不詳

板に水墨で描いたもの。作者は不明。



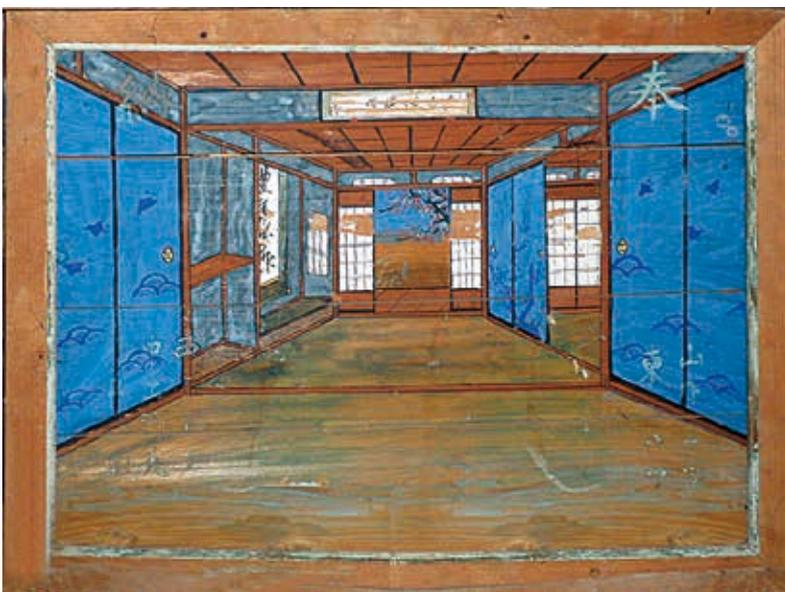
164 魚とり図 下徳山・八幡神社 年代不詳 (90×60)
日常の生活を描いた絵馬は珍しい。



165 農耕図額

荒屋神社 平成4年9月吉日(1992) (60×70)

働く姿を描いた農耕図は少ない。絵は須天熊田神社宮司の尾坂正康氏。



166 座敷図

来丸・気多神社 年代不詳 (60×75)

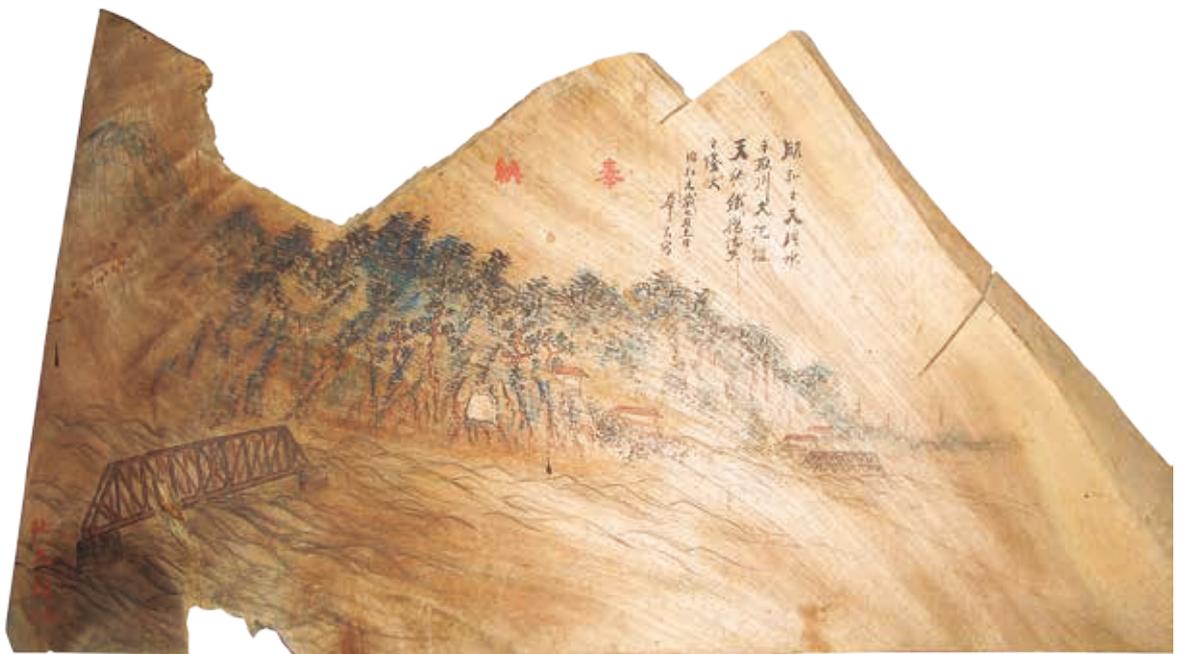
座敷内部を描いたものは珍しい。画面の襖には「豊年満作」の文字がある。豊作祈願。



167 根上松図

中ノ江・八幡神社 大正7年(1918)

鉄細工の根上松である。鉄の特徴を生かして幹枝の質感を表わしている。



168 手取川水害図 宮竹・日吉神社 昭和9年7月(1934) (65×110) (小松展)

昭和9年の手取川大洪水を記念した櫺の板額である。